

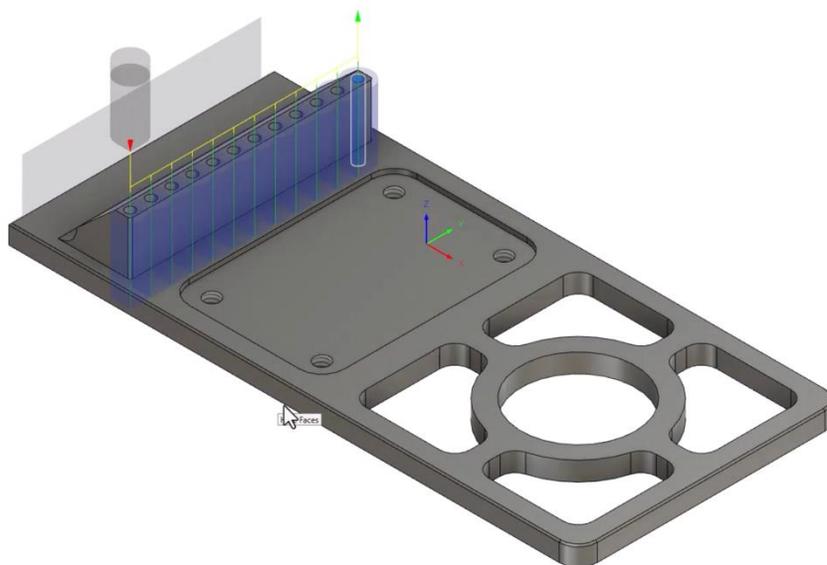
ステップバイステップ ガイド

タッピングと穴あけのツールパスを作成する

Fusion では、ドリル穴やタップ穴に対して複数の穴作成操作を使用できます。各操作のパラメータを変更して、ざぐり穴や皿穴などの追加のフィーチャを導入することができます。穴あけツールを使用して、タップ穴と深い穴を作成します。

学習の目的:

- タッピング用のツールパスを生成するための穴あけオプションを変更します。
- 深穴の穴あけのツールパスを生成するための穴あけオプションを変更します。



完成図

1. Phone Stand Base 4.f3d ファイル

で続けます。

ツールバーのドリルをクリックし
ます。



図 1. ドリル工具が選択されました。

2. [ドリル]ダイアログで[選択]をクリック

し、工具を選択します。

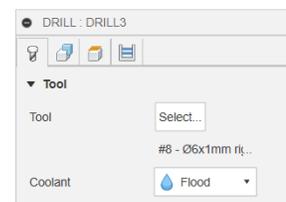


図 2. [選択]をクリックして工具を選択します。

3. [ツールを選択]パネルで、6 x 1 mm の右タップ工具を選択します。右ク リックメニューで[コピー ツール]を 選択します。

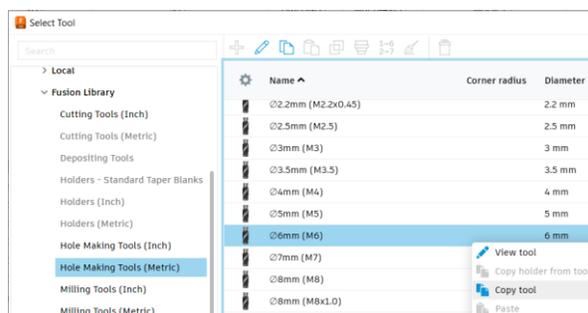


図 3. 6x1 mm のタップツールをコピーします。

4. 工具をプロジェクト ライブラリに貼 り付け、工具を選択して[選択]をクリ ックします。

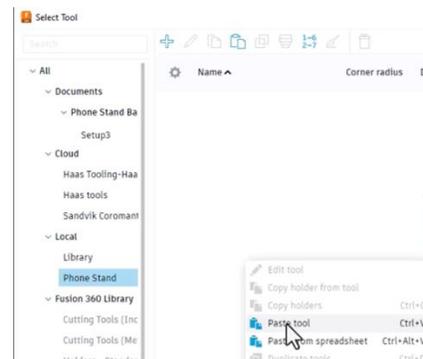


図 4. Phone Stand のローカル ライブラリを右クリックし、
[ツールを貼り付け]を選択します。

5. [ジオメトリ]タブを選択し、4つの穴の面をクリックして、[OK]をクリックします。

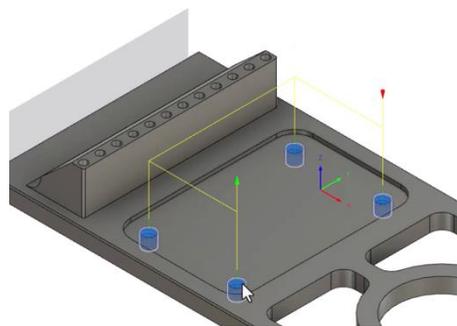


図 5. 4つの穴の面が選択されます。

6. ツールバーのドリル ツールパスをクリックし、選択をクリックして工具を選択します。工具を選択パネルで、次のように 3 mm のドリルビットを選択します。加工データでは、該当の材料を使用している場合は、アルミニウム-ドリルを選択できます。[ジオメトリ]タブで、3 mm の穴の1つを選択し、[同じ直径を選択]チェックボックスをオンにします。

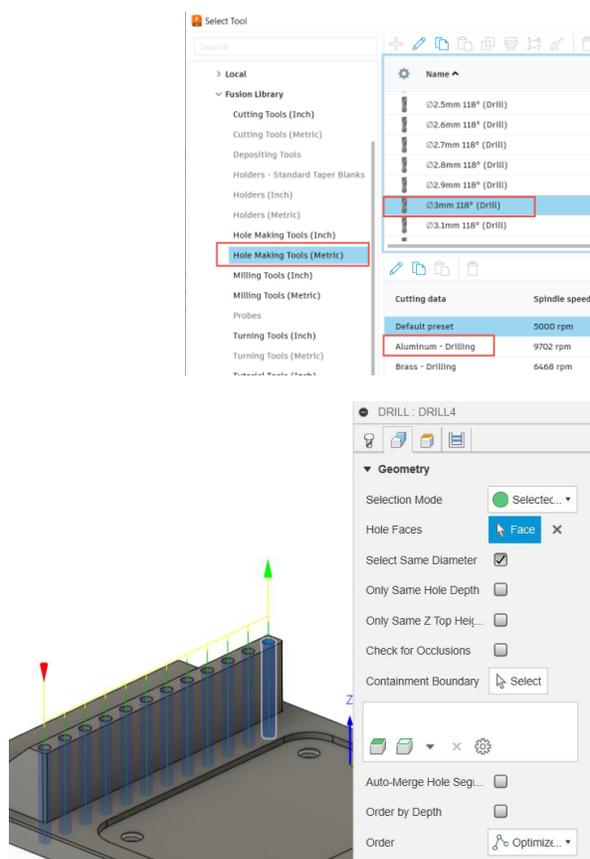


図 6. 3 mm のドリルビットを選択します。

7. サイクルタブで、サイクルタイプとして深穴ドリル-完全退避を選択します。ペック深さ間隔パラメータに基づいて、ドリルがパーツから完全に退避するようにツールパスを修正することができます。これにより、チップが穴に集まらず、穴あけがシャープで穴の丸みを保持します。

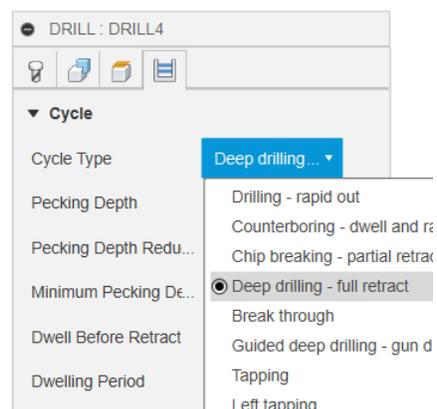


図 7. 深穴あけ - サイクルタイプとして完全退避が選択されました。

8. 操作が設定されたら、[マシンを使用してシミュレート]をクリックします。



図 8. [マシンを使用してシミュレート]ツール

9. プロセスのシミュレーションを表示します。

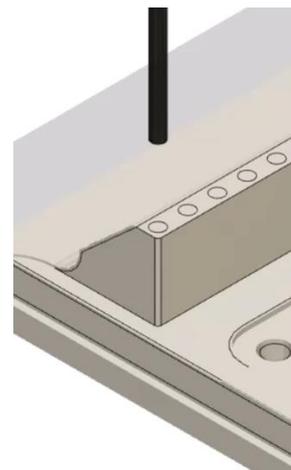


図 9. シミュレーション。

10. ドリル設定を右クリックし、[複製]を選択します。

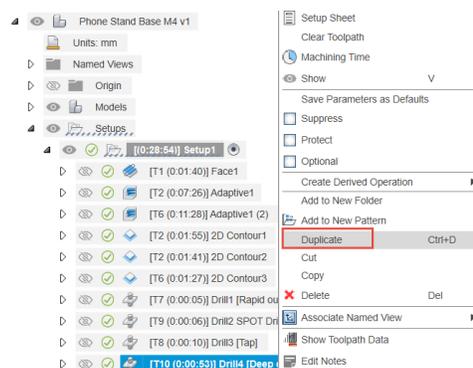


図 10. 右クリックメニューで[複製]を選択します。

11. この時点で、同じ選択穴の異なる工具と高さの新規ツールパスを編集し、同じ位置に複数の工程を作成することができます。ファイルを保存します。

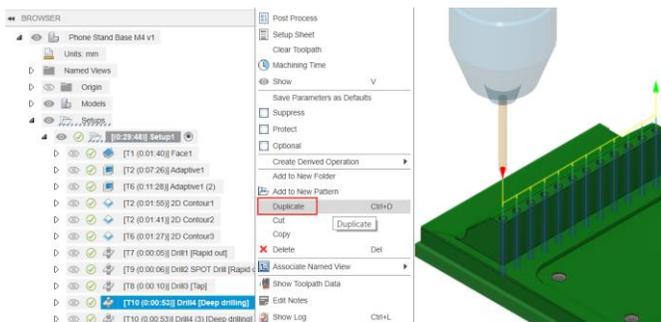


図 11. 操作を複製します。